

棚田のオーナーになろう!

棚田での農作業体験や交流などを通じ、地域住民とともに日本の原風景である棚田を保全していく「棚田オーナー」を募集しています。秋田の棚田を体験してみませんか?

白神山地の麓・藤里町横倉地区



- **オーナー料金**
12,000円/組(4名まで登録可、体験料別途)
- **オーナー特典**
「横倉棚田米」(減農薬、有機栽培、天日干し) 15kgを贈呈

EVENT

なつ! プナと水と蛍の里で棚田ツアー

7月30日(土)~31日(日)
(1泊2日・宿泊は「白神ぶなっこ教室」です)
体験料(予定):8,000円(1名あたり)

● **体験内容**
棚田の生き物探し、川遊び、山菜料理教室、星空と蛍の競演、フナ林散策 など

お申し込み・お問い合わせ
白神ぶなっこ教室 ☎0185-79-3130

天水米の里・横手市場須沢地区



- **オーナー料金**
10,000円/組(4名まで登録可、体験料別途)
- **オーナー特典**
「天水米」(天日干し) 20kgを贈呈

EVENT

光の競演・ホタル&ランタン

7月2日(土) 体験料(予定):500円(1名あたり)

● **体験内容** ランタン製作、ホタル鑑賞など

夏感体験

8月20日(土) 体験料(予定):2,000円(1名あたり)

● **体験内容** 地域散策、お楽しみ体験など

お申し込み・お問い合わせ
大森町グリーン・ツーリズム推進協議会 ☎0182-26-2116

今後様々な催しを予定しています。オーナー料金は年会費となっていますが、体験料のみでの参加も可能です。詳しくはお問い合わせください。



食べる

低カロリーで、ビタミン豊富なじゅんさいは、三杯酢やお吸い物の実として食べるほか、てんぷらや鍋にしてもおいしい。料理コンテストで、鮮やかな緑色になるようさと茹で、ゴマ入りポン酢で食べるさっぱり味のしゃぶしゃぶを笹村さんが提案。料理評論家の岸朝子さんに絶賛された。希望に応じて、体験時に食べることもできる(要予約・別途料金)。



じゅんさい沼は白神の水を湛える素波里ダムから水を引いている。

じゅんさい摘みとり体験は、小さな箱形の平船に乗って、棒一本で舵を取る。水面の葉の下をたぐり、親指の爪の先で節をつまむと、意外と簡単にプチッと取れる。風に流されたり、片手で摘み取る作業はなかなか難しく、その上、ぬめりが邪魔してうまく捕まえられない。最初は恐る恐る手を伸ばしているが、少しコツをつかんで収穫できはじけると、時間を忘れるほど夢中に。



体験



郷土料理や菓子作り、そば打ちなど各種学科を設立し、地域ならではの楽しみ方をレクチャーしている。

なかでも、一番人気が「じゅんさいの摘みとり体験」。じゅんさいの葉に覆われた水面で、小舟を漕いで楽しむひとときは童心に帰ったかのような。県外から訪れる人も多いというもうひとつの。こんな体験を楽しめるスポットがすぐそばにあるなんて、うれしさがぎり。カップルや家族連れでぜひ出かけてみよう。

ひと足のばして



買う

新鮮なじゅんさいはもちろん、竹の子、ミズなど旬の野菜や山菜がいっぱい。市価の半値というものもありかなりのお買い得だ。ごま巻きや麦巻き、笹餅などの甘い「お茶うけ」は地元の人たちにも人気。

じゅんさいの館

山本郡三種町森岳字東二ツ森97 ☎0185-72-4355



国道7号線沿いにある大きな木造の建物が目印。木をふんだんに使った天井が高く広い店内には、農家直送の新鮮な農産物や山菜、花などが一面に並び、地元の「かあさん」たち手作りの加工品のほか、木工品や地域の名産など、さまざまな商品が揃っている。お食事処「かあさん」の一番人気は、地場産のそば粉で十割近い配合のそばを使い、じゅんさいをたっぷりのせた「じゅんさい入り天ぷらそば(550円)」で、ほかにも、じゅんさい入りのメニューがずらり。



今回の体験の講師は百姓大学そば打ち科の名誉教授でもある笹村優樹(右)さん。親戚の笹村敬一さん(左)の沼を借り受けて、体験用に木製の東屋を沼に作った。この東屋が周りの風景と調和してなかなか風情があり、また、船の乗り降りの際にも、初心者でも安全に楽しめるようにとの配慮がされている。



▲体験の手順を説明。



▶じゅんさいが広がる景色は初夏の風物詩。睡蓮科の植物らしい形をした葉が沼一面に浮かぶ。水面下には独特のぬめりに覆われたおなじみの芽が。



おらほのグリーンツーリズム やまもと百姓大学

☎0185-85-4830

体験学科/じゅんさい摘みとり体験...5~8月 1,500円(2時間)
そば打ち体験...通年 1,500円(2時間) 他

今が旬のじゅんさい摘みとり
美しい緑と青い空の下で
楽しい体験にチャレンジ!!

三種町は、無色透明、弱アルカリ性でしょっぱい温泉としてその名を轟かせる森岳温泉、東北最大級の規模を誇る秋田森岳温泉36ゴルフ場、サンドクラフト造りで知られるサンセットビーチ釜谷浜、悠久の音色を奏でる土笛の里そして、じゅんさいや八竜メロンを始めとした農産物など、自然が織り成す水と緑に彩られた町である。

じゅんさいは日本一の生産量を誇り、この地域を象徴する農産物。五月から八月にかけて、町のいたる所で小舟を浮かべた摘みとり風景を目にすることができる。その風景は初夏の風物詩ともなっている。

このじゅんさいの摘みとりを一般の人にも体験できるようにと、はたらきかけているのが、平成十五年にスタートした山本町型グリーン・ツーリズムを推進する「やまもと百姓大学」。農家の人々が講師となって、田舎の魅力を体験学習してもらおうという趣旨で、敢えて「大学」と名付けたのがユニークだ。「楽しくなければ田舎じゃない」を校訓に、

わたしたちがご案内します!!
左より県北担当/八柳好美さん
県央担当/山内優子さん
県南担当/高橋桂子さん



現地特派員が案内する

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

GREEN | Tourism

@AKITA

三種町

慣れない小舟に
てこずりながら、
プチッと爪で摘み取る
おもしろさ。じゅんさい鍋に
じゅんさいのてんぷら!
地元の父さん母さんに
おすすめの食べ方、
聞いてみてくださいね。

県北は八柳が
ご案内いたします

楽しもう!! グリーン・ツーリズム

秋田の

Vol.3